

タイトル	地場産材による家づくりを軸とした材の多様な活用	
概要	多様な主体が連携し、地元産材を用いた家づくり等の事業を展開。	
管理方法・技術的視点	<p>育林、間伐から製材、建築という流れをすべて村内で完結する「トータル林業」により、流通コストを削減し、地場産材の活用を可能にしている。</p> <p>製材所を村で買い取り、各種の林業振興、山村振興事業を手掛けることで、「林業立村」のモデル構築を進めている。さらに「伊那谷の森で家を作る会」とともに、消費者を山林に案内して根羽杉を用いた家づくりを促進するなど、山とつながった家づくりと持続可能な森林経営、雇用増大を実現させている。</p> <p>また、村内交流施設は地元木材をふんだんに使われたものとなっており、休日等にはイベントとして間伐材を用いたチェーンソーアートや遊歩道づくり等を実施している。</p>	
備考	<p>1995年より村主導で林業立て直し策を考案。製材所を村で買い取り、木材加工・製材施設を整備するとともに、間伐を促進して林業振興を図る。01年根羽スギ、02年根羽ヒノキが県の認証製品なる。隣接市町村を含む設計者、工務店、材木店、職人などの「つくり手」と、一般会員で構成される組織「伊那谷の森で家をつくる会」が発足した。</p>	
場所・主体	長野県下伊那郡根羽村・根羽村役場振興課	
URL等	http://www.jafta.or.jp/13_sanson_hp/jirei/mori-yama/jirei48-1.html	